

日本銀行



- 東京大神宮 2.00km - 宮中三殿賢所 - 日本銀行 本店 2.00km
- - 宮中三殿賢所 - 旧東京銀行本店 2.00km
- - 宮中三殿賢所 - カトリック神田教会 2.00km
- 東京大神宮 2.00km - 宮中三殿賢所 - 四谷新生教会 2.00km

東京大神宮

東京における伊勢神宮の遥拝殿として明治13年に創建された当社は、最初日比谷の地に鎮座していたことから、世に「日比谷大神宮」と称されていた。関東大震災後の昭和3年に現在地に移ってからは「飯田橋大神宮」と呼ばれ、戦後は社名を「東京大神宮」と改め今日に至る。

日本銀行本店

設立 1882年（明治15年）10月10日。本店本館は、建築家・辰野金吾の設計で、柱やドーム・丸屋根などのバロック様式に、規則正しく並ぶ窓などのルネッサンス建築様式を取り入れた「ネオバロック建築」で、ベルギー中央銀行を手本にしたとされている、明治時代の近代洋風建築を代表する建築作品である。上空から見ると『円』に見えることで有名。東京都中央区日本橋本石町2丁目1-1

旧東京銀行本店（旧横浜正金銀行東京出張所・現三菱東京UFJ銀行日本橋支店）

1879年（明治12年）創立されたかつての横浜正金銀行では1899年（明治32年）東京出張所を設置させ、翌年の1900年（明治33年）にはそれを支店と成したが、それをより大ならしめることを企て、その意図により1907年（明治40年）6月周辺の地所を取得し、1920年（大正9年）10月より建設に着手した。然るにそれは関東大震災の発生により設計の変更ならびに遅延をやむなくされたが、1927年（昭和2年）6月30日にはその全工程の成されることとなった。第二次世界大戦で日本が敗戦した後、正金は占領軍の命により解散させられるのやむなきにいたったが、以後、それを引き継がせるべくして1946年（昭和21年）12月17日設立され、1947年（昭和22年）1月1日開業した株式会社東京銀行の本店として供される運びとなった。

東銀は旧正金東京支店以来の部分解体撤去したうえその跡地において高層建物を建設する計画を発

表した。これに対して建築史家の村松貞次郎などは歴史的建築物として外壁保存の上新建物を建設するよう保存運動をもって東銀に要請していたが、1975年（昭和50年）12月、ついに同行はこれを聞き入れることなく取り壊した。

新本店は上記建物の跡地において1979年（昭和54年）4月竣工し、同年5月7日開館した。東銀と三菱銀行の合併により東京三菱銀行となったことを経て、現在、東京三菱銀行とUFJ銀行の合併により発足した三菱東京UFJ銀行の日本橋支店となっている。東京都中央区日本橋本石町1丁目1-3-2

カトリック神田教会

1874年（明治7年）1月に創建され東京の教会でも有数の歴史を持つ教会。現在の聖堂はフランス人宣教師シェレル神父の構想により、1928年（昭和3年）に完成したもので、当時の面影がそのまま残っている。東京都千代田区西神田1丁目1

四谷新生教会

プロテスタントのさまざまな伝統を持つ教会が合同して創られた日本キリスト教団に属しています。特にその中でも、新生会という、バプテスト派の流れを汲む教会です。礼拝堂にはバプテストリー（浸礼槽）があり、万人祭司主義の表象としての会衆主義を守ってきました。その歴史は、1891年に築地の宣教師館で生まれたベタニア教会（田村町教会）と1895年に小石川に生まれたインマヌエル教会（春日町教会）から始まりました。東京都新宿区四谷1丁目14

備考

日比谷大神宮は、明治政府にとって大切な神社だったのになぜ同じ場所に再建しなかったのか。現在は、近くでゴジラが一人で守っている。新しい東京大神宮は、明治7年に創建されたカトリック教会や日本銀行と同距離に位置する。新しいと思われる四谷新生教会も同距離になる。日本の金融を支配してきたとされる黒田氏はイエズス会とも繋がっていたらしいのでキリスト教会も大切なブレンになっているのだろう。日銀本店をはじめ旧東京銀行など数々の銀行が同距離に位置している。宮中三殿からの気を金融機関に引き寄せるしくみではないか。

